

【レジャー・外食業界】 doda 転職求人倍率 2022年12月は0.66倍（前月差+0.09ポイント）

～求人数は調査開始以来で過去最多。コロナ禍での地方への新規出店を背景に採用を強化～

パーソルキャリア株式会社が運営する、[転職サービス「doda（デュダ）」](#)（編集長：大浦 征也）は、2022年12月のレジャー・外食業界の転職求人倍率をまとめた「業界版doda転職求人倍率」を発表いたします。

doda 転職求人倍率は、中途採用市場における需給バランスを表すもので、doda の会員登録者（転職希望者）1 人に対して、中途採用の求人が何件あるかを算出した数値です。

<算出式>：求人数（採用予定人員）÷ 転職希望者数 ※分子・分母は doda 独自の定義により算出したものです。

■2022年12月の概況

レジャー・外食業界の求人数（採用予定人員）は過去最多を記録するなど、7カ月連続で増加するも、転職希望者数は伸び悩み、採用難易度は高い状況。

求人数（採用予定人員、以下求人数）とは、転職求人倍率を算出する月に新たに掲載された求人に加え、算出月の前月末時点、かつ算出月に掲載があった求人に記載されている採用予定人員のことを指します。

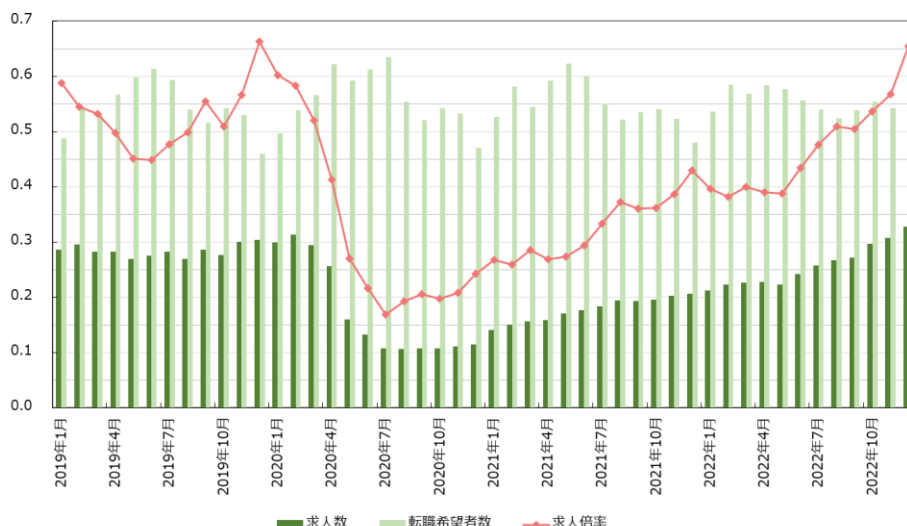
2022年12月のレジャー・外食業界の転職求人倍率は、全体の2.54倍^{※1}に対し、0.66倍となり前月比+0.09ポイントでした（図①、表①）。求人数（採用予定人数、以下求人数）は前月比106.4%、前年同月比158.5%となりました（表②）。前月比では、全12業種^{※2}（「その他」は除外）の中で2番目に高く、引き続き採用活動は活発であることが伺えます。転職希望者数は前月比92.1%、前年同月比103.9%でした。

レジャー・外食業界では、2019年1月の調査開始以来、求人数は過去最多を記録しました。「ファストフード関連」企業では地方出店を加速させるために採用人数を増やす動きが顕著に現れています。30名規模の採用が活発に行われ、2022年12月の求人数増加をけん引したと考えられます。一方、年末年始に掛けて、レジャー・外食業界は繁忙期に入ることから転職活動を控える個人が増加し、転職希望者数は減少。これらの動向を受け転職求人倍率は上昇しました。こうした状況から、引き続き採用難易度は高いと言えます。

※1：全体版は、doda転職求人倍率レポート< https://doda.jp/guide/kyujin_bairitsu/ >を参照ください。

※2：本リリース2枚目の表「業種別 求人数増加率」を参照ください。

【レジャー・外食】 doda転職求人倍率・求人数・転職希望者数（図①）



■ 2022 年 12 月の動向（解説：doda 編集長 大浦征也）

新型コロナ「第8波」など、全国的な感染拡大を背景に、“進出してなかった地方への新規出店”を加速させている「ファストフード関連」企業では、店舗の管理・運営を行う「店長職」の求人が増加。

新型コロナの「第8波」が到来し、全国的に感染者数が増えたことから、地方でも中食需要が高まり、中食業界は急拡大しています。例えば、宅配ピザチェーンは、新型コロナ流行前は連休やクリスマスといった特別な機会に需要が高まる傾向にありましたが、コロナ禍を経て、日常的な利用へと需要が移行しました。

これらの動きを背景に、宅配ピザチェーン（「ファストフード関連」）では、年間50店舗以上の地方出店を行うなど、新型コロナ前には進出していなかったエリアへの新規出店が加速しています。結果、店舗の管理・運営を行う「店長職」のポジションで求人が増えています。

一方で、外食業界に「休みが少ない」「給与水準が低い」というイメージを持つ人も多く、他業界から就業を希望する人が少ないのが実情です。そのため、企業は、フレックス制度の導入や、給与水準の引き上げなど、労働環境の改善を図っています。さらに最近では、地方での採用を強化していることもあり、地方通勤には欠かせないバイク・車などの購入補助制度を導入するなど、更なる待遇改善を実施する企業も増えています。また、求人が増加した「店長職」では、コミュニケーションスキルが求められることから、業界未経験であっても、接客経験を有する人材であれば採用するなど、企業は人材確保のため未経験採用も活発に行っています。

今後も、地方での新規出店を背景に、店舗の管理・運営を行う「店長職」の採用が続くと考えられます。加えて、「店長職」の採用強化に合わせて、採用を担当する「人事職」のポジションでも、求人が増加すると予想しています。

■ 業種別 doda転職求人倍率（表①）

業種	2022年12月 転職求人倍率	前月差	前年 同月差
全体	2.54	0.31	0.46
IT・通信	7.01	0.88	0.94
メディア	5.31	0.62	1.59
金融	2.00	0.28	0.40
メディカル	1.45	0.12	0.18
メーカー	3.02	0.41	0.61
商社	1.70	0.22	0.51
小売・流通	0.54	0.07	0.08
レジャー・外食	0.66	0.09	0.23
エネルギー	1.80	0.22	0.16
建設・不動産	4.33	0.49	0.52
コンサルティング	8.23	1.54	2.13
人材サービス	8.31	0.63	1.55
その他	0.34	0.05	0.08

■ 業種別 求人数増加率（表②）

業種	前月比	前年 同月比
全体	103.0%	141.8%
IT・通信	102.9%	130.5%
メディア	102.9%	152.6%
金融	106.2%	145.5%
メディカル	101.0%	141.0%
メーカー	102.7%	147.2%
商社	101.4%	161.3%
小売・流通	105.9%	137.3%
レジャー・外食	106.4%	158.5%
エネルギー	100.3%	130.6%
建設・不動産	102.0%	135.8%
コンサルティング	112.0%	152.0%
人材サービス	100.5%	140.0%
その他	104.1%	159.2%

■ 2022年12月の求人案件数の動向（解説：doda編集長 大浦征也）

求人案件数とは、採用予定人数に関係なく、その月のうちに1度でも「doda」に掲載された求人票の数を指します。（新規、繰越を含む）

2022年12月の「レジャー・外食業界」は全体的に求人案件数が落ち込み、最も減少幅が大きい「ファストフード関連」では前月比85.2%に。円安の影響による“原材料の高騰”や、12月の“商戦期”が要因に。

求人案件数で見ると、2022年12月の「レジャー・外食業界」では、「旅行・旅行代理業」を除く全ての業種で求人案件数が前月から減少。特に「ファストフード関連」では、前月比85.2%となり、「レジャー・外食業界」の中で、最も求人案件数の減少幅が大きい結果となりました。

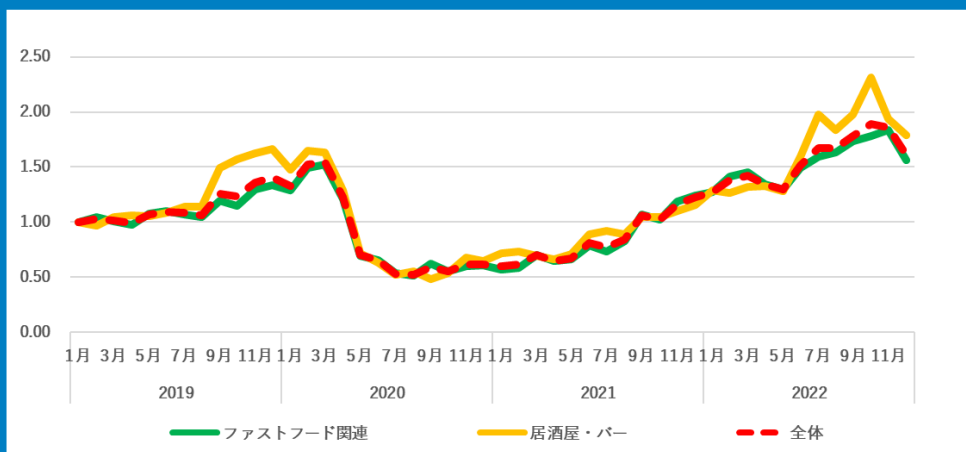
求人案件数が減少した要因には、円安の影響が挙げられます。円安の影響により、原材料が高騰化し、企業の利益を圧迫している状況になっています。これにより、「ファストフード関連」企業では、採用活動に関わる費用を抑えるために、求人サイトや人材紹介といった外部企業に掲載する求人を厳選した結果、求人案件数が減少したと推測されます。一方で、このような状況下においても、慢性的な人手不足を背景に、採用活動を継続する必要があり、アルバイトの正社員登用や、リファラル採用など、自社採用を強化する企業が多くなっています。

また、12月は外食業界にとって、1年間の売り上げの半数以上を占める商戦期です。そのため、同業界で就業している個人には、転職活動に注力しづらい時期となっています。これらのことから、より経験者の採用確度を高めるために、商戦期である12月は求人案件数を一時的に減少させるなど、採用活動を控える企業があったと予想しています。

■ 業種詳細別 求人案件数の増加率（表③）

業種	詳細	前月比	前年 同月比
外食	ファストフード関連	85.2%	125.9%
	居酒屋・バー	92.2%	154.6%
	全体	86.7%	131.5%
旅行・宿泊・レジャー	スポーツ・ヘルス関連施設	86.4%	133.1%
	ホテル・旅館・宿泊施設	89.6%	240.1%
	レジャー・アミューズメント	93.6%	138.3%
	旅行・旅行代理業	101.2%	137.1%
	全体	90.7%	175.0%

「外食」業種における「doda」掲載の求人案件数の推移（2019年1月の掲載数=1と定義）（図②）



出典元：転職サービス「doda」

【ご取材可能】解説者 doda編集長 大浦 征也（おおうら せいや）

2002年、株式会社インテリジェンス（現パーソルキャリア）に入社。一貫して人材紹介事業に従事し、法人営業として企業の採用支援、人事コンサルティングなどを経験した後、キャリアアドバイザーに。担当領域は、メーカーやIT、メディカルやサービス業等多岐にわたり、これまでにキャリアカウンセリングや面接対策を行った転職希望者は10,000人を超える。

その後、複数事業の営業本部長、マーケティング領域の総責任者、事業部長などを歴任。2017年より約3年間、doda編集長を務め、2019年11月には執行役員に。2022年7月、doda編集長に再就任。転職市場における、個人と企業の最新動向に精通しており、アスリートのセカンドキャリアの構築にも自ら携わる。社外では、公益財団法人スポーツヒューマンキャピタル（SHC） 理事、一般社団法人日本人材紹介事業協会 理事にも名を連ねる。

